

外国語（英語科）学習指導案 名瀬市立朝日中学校

平成14年11月26日（火）

2年3組 男子18名、女子21名、計39名

指導者 教諭 福留 理恵(T1)山下 成美(T2)

- 1 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE II
PROGRAM 7 A Reply to Virginia

2 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元では、1987年アメリカニューヨークに住むバージニア・オハロンという女の子のサンタクロースにまつわる物語が取り扱われている。本単元では、フランシス・ファーセラス・チャーリーがバージニアに送った返事に込められた私たちへのメッセージ、つまりは科学・文明が発達した21世紀の今日においても目に見えないものを信じることの大切さについて、生徒自身が積極的に読み取ろうとするのに適した題材である。

言語材料としては動名詞、SVOO、SVCの文型など、特に「話すこと」に指導の重点を置き、表現力を高められると考えられる。よって、生徒自身の身近なことについての対話文を完成させたり、発表の場を設けて自己表現させたりすることで基礎的・基本的な内容を十分習得できるようにした。

また、課の発展的な活動においては、実際に簡単な英字新聞に触れさせたり、さらに英文レターを書かせたりすることで、英語に対する意欲・関心が高まると考える。

(2) 単元を進めるにあたっての留意事項

この単元は、実話にもとづく内容であるため、多くの子どもたちの興味を引くことが予想される。そこで、「読みの視点」を工夫して与えながら、まずはしっかりと本文の内容を押さえさせ、分かる実感を味わわせることで「読む力」を高めるようにしていきたい。そして、英語が苦手な生徒には Team Teaching の指導により、個別指導、グループ指導を行いながら丁寧に支援していきたい。

また、新出文型である動名詞、SVOO、SVC はそれぞれ、日常の会話の中でよく使われる表現である。そこで文型の導入では、T1、T2のダイアログを行い、「聞く力」から「話す力」へ段階を経ながら無理なく生徒が理解できるようにし、パターン・プラクティスなども有効に使いながら、基礎・基本の定着を図りたい。

言語活動においてはペア活動を中心とし、作成したダイアログの発表などを通し、実践的コミュニケーション能力を育てる基礎を育てたい。またその際には、T1、T2がそれぞれ各ペアの実態を十分に把握し、その実態に応じた指導及び支援をしていくことで生徒一人一人の持つ英語の力をさらに伸ばすことができるようにしていきたい。

3 生徒の実態

全体的に明るく、英語学習に興味を持ち意欲的に取り組んでいる生徒が多い。発音練習などもクラス全体で大きな声で積極的に行っている。しかし一方で英語学習における基礎的・基本的な内容が十分に身につけていない生徒もいる。Team Teaching を十分に生かしながら苦手意識を持つ生徒たちの基礎的・基本的な力の向上を目指すと同時に、生徒一人一人の興味・関心を引き上げるような指導を工夫していきたい。

英語学習に対するアンケート調査結果（37人、9月実施）

- ① あなたは英語が好きですか。
好き 14人 どちらかといえば好き 13人 どちらかといえば嫌い 7人 嫌い 3人
- ② どの分野が一番難しいと思いますか。(複数回答)
- | | | | |
|--------------------|-----|--------------------|-----|
| ア 単語を読むこと | 6人 | イ 単語の意味を覚えること | 10人 |
| ウ 単語の綴りを覚えること | 12人 | エ 英文を作るときの単語の並べ替え | 27人 |
| オ 自分で英文を作ること | 30人 | カ 教科書の本文を自分で音読すること | 8人 |
| キ 教科書の本文の内容を読み取ること | 7人 | ク 自分で英語を話すこと | 22人 |
| | | ケ 文法の学習 | 15人 |
- ③ どの分野が一番好きですか。(複数回答)
- | | | | |
|--------------------|-----|--------------------|-----|
| ア 単語を読むこと | 11人 | イ 単語の意味を覚えること | 18人 |
| ウ 単語の綴りを覚えること | 12人 | エ 英文を作るときの単語の並べ替え | 6人 |
| オ 自分で英文を作ること | 3人 | カ 教科書の本文を自分で音読すること | 12人 |
| キ 教科書の本文の内容を読み取ること | 12人 | ク 自分で英語を話すこと | 10人 |
| | | ケ 文法の学習 | 3人 |
- ④ 間違いをすることは恥ずかしいことだと思いますか。
- | | | | |
|-------|-----|---------|-----|
| 恥ずかしい | 19人 | 恥ずかしくない | 18人 |
|-------|-----|---------|-----|
- ⑤ 毎日の積み重ねは十分できていると思いますか。
- | | | | | |
|-------|----------------|-----|---------------|-----|
| 宅習ノート | できている | 5人 | どちらかといえばできている | 18人 |
| | どちらかといえばできていない | 10人 | できていない | 4人 |
- ⑥ 外国人と英語で話せるようになりたいと思いますか。
- | | | | | | |
|------|-----|--------------|-----|------|----|
| なりたい | 23人 | どちらかといえばそう思う | 12人 | 思わない | 2人 |
|------|-----|--------------|-----|------|----|
- ⑦ 外国へ行ってみたいと思いますか。
- | | | | |
|----|-----|--------|----|
| 思う | 33人 | 別に思わない | 4人 |
|----|-----|--------|----|
- ⑧ あなたは英語で何ができるようになりたいと思いますか。
- ・話せるようになりたい ・手紙が書けるようになりたい ・語順、意味が分かるようになりたい
 - ・英検3級に合格したい ・英会話 ・英語の歌を歌えるようになりたい
 - ・世界の音楽に関わりたい ・困っている外国の人を助けたい

4 単元の指導計画

(*は本時)

時	教授＝学習活動
第1時	課全体の学習計画の把握， スキーマの形成， 重要文の理解と練習
第2時	Section 1 の内容理解と表現活動
第3時	Section 2 の内容理解と重要文の理解と練習
*第4時	Section 3 の内容理解と重要文の理解と練習
第5時	発展的言語活動 （ Check & Use, 手紙の書き方・下書き ）
第6時	発展的言語活動 （ クリスマスカードなどの作成 ）
第7時	課テスト， 総合評価と補充深化指導

5 評価規準

(1) 本課の評価規準

単元の評価規準	評価場面(方法)	具体的評価目標	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する (C)
【コミュニケーションの関心・意欲・態度】 ①動名詞を利用した英文を使って、自分の好きなことなどをすすんで対話したり、発表したりしようとする。 ②英字新聞や、サンタクロース等の文化的背景についてすすんで調べようとする。	・動名詞などを用いて自分の好きなことや趣味について英語で表現する場面。 (行動観察・発表) ・ALT の話を聞いてクリスマスやサンタクロースについて聞く場面。 (発言・プリント)	①動名詞などを用いて、友だちとすすんで対話したり、自分や友だちのことについてすすんで発表したりしようとする。 ② ALT の話などを聞き、クリスマスやサンタクロースなどのことについて知ろうとする。	・動名詞を使って、友だちの好きなことやむずかしいことなどについて積極的に対話し、発表しようとしている。 ・ALT の話を熱心に聞きながらクリスマスのことについて知ろうとしている。	・動名詞を使って、友だちのものについて対話したり、自分の友だちのことについて発表しようとしている。 ・ALT の話を聞きながらクリスマスのことについて知ろうとしている。	・動名詞を取り入れた文を使って友だちとあまり対話しようとしない。 ・ALT の話にあまり集中せず、クリスマスの事についてあまり知ろうとしない。
【表現の能力】 ①動名詞を利用した英文を使って自分の好きなことについて書いたり発表したりすることができる。 ② SVC, SVOO を利用した英文を使って対話したり、対話の内容を発表したりすることができる。	・動名詞を用いた文を作ったり、話したりする場面。 (行動観察・プリント) ・SVC, SVOO を利用した英文を使って対話したり、話したりする場面。 (行動観察・プリント・発表)	①動名詞を用いて自分の趣味を英語で説明したり、相手の趣味を理解したりすることができる。 ② SVC, SVOO の構文を用いて英文にしたり話したりすることができる。	・動名詞を利用した英文を使って、自分の好きなことやむずかしいことを書いたり発表したりすることができる。 ・SVC, SVOO の文を用いてすすんで対話したり、その対話の内容を英語でまとめたりすることができる。	・動名詞を使って、自分の好きなものについて英文を書くことができる。 ・SVC, SVOO の文を用いて対話したり、対話の内容を日本語でまとめたりできる。	・動名詞を使った英文を書くことができない。 ・SVC, SVOO の文を用いてあまり対話しようとしなない。
【理解の能力】 ①動名詞, SVC, SVOO を含んだ英文を読んだり、聞いたりして、その意味を言うことができる。 ②本文についての内容を読み取り、発表することができる。	・動名詞, SVC, SVOO の英文を作り、発表する場面。 (プリント・発表・テスト) ・本文の内容についてみんなの前で発表する場面。 (プリント・発言・テスト)	①動名詞, SVC, SVOO の英文を聞いたり読んだりしてその意味を言うことができる。 ②本文の内容をまとめて発表することができる。	・動名詞, SVC, SVOO の英文を聞いてその意味を言うことができる。 ・本文の内容を簡単な英語や日本語でまとめ発表することができる。	・動名詞や SVC, SVOO を含んだ英文の質問に日本語で答えることができる。 ・本文の内容を日本語でまとめ、発表することができる。	・動名詞や SVC, SVOO を含んだ英文を聞いて、あまり理解することができない。 ・本文の内容をまとめることができない。
【言語や文化についての知識・理解】 ①文型の仕組みが言え、正しく使い分けることができる。 ②サンタクロース、クリスマス等の異文化について説明することができる。	・動名詞や, SVC, SVOO の英文を作る場面。 (テスト・プリント) ・クリスマス等の異文化の行事について調べたりする場面。(発表)	①目的語になる動名詞, SVC, SVOO の文型を用いて正しい語順の英文を作ることができる。 ② ALT などの話を聞いてクリスマスやサンタクロースについて理解することができる。	・動名詞, SVC, SVOO の文型と他の文型との違いが言え、英文の中で正しく使うことができる。 ・クリスマスやサンタクロースのことについて詳しく説明することができる。	・動名詞, SVC, SVOO の文型を用いて正しい語順の英文を作ることができる。 ・クリスマスやサンタクロースなどについて説明できる。	・動名詞, SVC, SVOO の文型を用いて英文が作れない。 ・クリスマスやサンタクロースについてあまり説明することができない。

(2) 各単位時間の評価規準

	時間	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語・文化についての知識理解
単位時間における具体的な評価規準	1	・動名詞の表現を用いて、自分の好きなことなどをすすんで対話したり、発表したりしようとする。	・動名詞の表現を用いて、自分の好きなことなどを書いたり、話したりすることができる。	・動名詞の表現を用いた文を聞いたり、読んだりしてその内容を理解することができる。	・動名詞の表現を正しく理解できる。
	2	・動名詞の表現を用いた言語活動にすすんで参加しようとする。	・動名詞の表現を用いて身近な事柄について表現することができる。	・ブラウン先生と由紀の対話を理解することができる。	・目的語になる動名詞の文の正しい語順の英文を作ることができる。
	3	・SV00の表現を用いた言語活動にすすんで参加しようとする。	・SV00の表現を用いて身近な事柄について書いたり発表したりすることができる。	・ブラウン先生と由紀の対話を読み、アメリカで実際にあった英字新聞にまつわる出来事について理解することができる。	・SV00の文の形・意味・用法を理解できる。
	4	・SVCの表現を用いて友だちと簡単な対話をすすんでしようとする。	・SVCの表現を用いて身近な事柄について書いたり発表することができる。	・本文を読みとり、その内容を理解することができる。	・SVCの文の形・意味・用法を理解できる。
	5	・本課で学習した重要表現を用いて友だちとすすんで対話しようとしたり、手紙の書き方について積極的に知ろうとする。	・本課で学習した重要表現を用いて身近な事柄について書いたり発表したりすることができる。	・本課で学習した重要表現を含む文を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解することができる。	・英語での手紙の書き方の形式を知ることができる。
	6	・アメリカにおけるクリスマスの様子などを知ろうとしたり、積極的にクリスマスカードを書こうとする。	・英語でクリスマスカードを書くことができる。	・友だちのクリスマスカードの発表を聞き、その内容を正しく理解することができる。	・アメリカと日本のクリスマスの様子の違いなどについて説明することができる。
	7	・課テスト、 総合評価			

6 本 時

(1) 目標

- ① SVC の表現を用いて友だちと簡単な対話をすすんでしようとする。
- ② SVC の表現を用いて身近な事柄について書いたり発表したりすることができる。
- ③ 本文を読みとり、その内容を理解することができる。
- ④ SVC の文の形・意味・用法を理解できる。

(2) 指導の重点

「読むこと」「話すこと」

(3) 本時の実際 (4/7)

☆は定着させるべき基礎的・基本的な内容

◎ は 人 権 同 和 教 育 の 視 点

過	学 習 活 動	時 間 (分)	形態	指 導 上 の 留 意 点	評 価 活 動
導 入	1 英語で挨拶をする。	10	一斉	1 英語学習の雰囲気を作る。 ☆ 適切な音量で適切な挨拶と日常会話ができるようにさせる。	発 表
	2 前時の学習の要点の復習をするゲームをする。		一斉	2 ゲームの中で前時の内容を復習させる。(T1) T1と交互で問題を出題しながら、前時の復習をさせる。(T2) ☆ 前時の内容の復習をしっかりさせる。	
展	3 教師のダイアログを通してどんなことを話しているかを推測する。	33	一斉	3 T1, T2のダイアログを聞きながら重要表現を把握させる。 ☆ オーラルプラクティスを用いてSVCの表現を定着させる。 ◎ 英語に苦手意識を持っている生徒が興味を持つような分かりやすい対話をする。	発 表
	4 本時の学習目標を把握する。 ①人の顔の表情や様子からその気持ちを推測し、英語で言えるようになる。 ②バージニアにはどんな返事が来たのかを読み取ろう。		一斉	4 本時の学習目標を提示し、把握させる。 目標・課題の明確化	

開	5 教科書の新出語句や基本表現を理解し、本文の内容を把握する。 (1) 新出語句の導入 (2) リスニング (3) 内容把握 (4) 発表		グループ	5 教師とインタラク션을図りながら、教科書の新出語句や基本表現を理解させる。(T1) T1と協力しながら、生徒に新出語句や基本の表現を理解させる。(T2) ☆ グループで協力して本文のおおまかな内容を把握させる。 ☆ 内容についての日本語の質問に答えることができるか。 ◎ 苦手意識を持つ生徒への個別指導がしっかりできているか。 山場の工夫	ワークシート 発表
	6 言語活動をする。		ペア	6 教師の例にならって、ペアで対話を練習させる。 ☆ 適切な音量で発表させる。	発表
ラスト15分の創造					
終末	7 自己評価をする。		個人	7 本時の内容理解についての簡単な小テストを行い、その後自己評価させる。 確かめ・見届け	小テスト 自己評価
	8 本時の学習を振り返り、まとめをする。 9 次時の活動について確認、挨拶をする。	7	一斉 一斉	8 重要表現などを再度音読させるなどして本時の学習のまとめをする。 9 宅習の内容を指示し、今後の学習課題を明確に持たせる。 ☆ 何度も繰り返し重要文の例文などを読んだり書いたりするよう指示する。	

(4) 評価

- ① SVCの表現を用いて友だちと簡単な対話をすすんでしようとしたか。
- ② SVCの表現を用いて身近な事柄について書いたり発表することができたか。
- ③ 本文を読みとり、その内容を理解することができたか。
- ④ SVCの文の形・意味・用法を理解することができたか。